

# 北海道における縄文世界遺産の拠点機能のあり方

## 資料編

## 1 検討の経過

---

(1) 検討体制

(2) 検討の経過

## 2 用語解説

---

## 1 検討の経過

## 1 検討の経過

### (1) 検討体制

2022（令和4）年5月に「北海道における縄文世界遺産の拠点機能のあり方に関する懇談会（以下、「懇談会」という。）」開催要領を策定し、有識者との意見交換を重ね、検討を進めました。

#### [懇談会の構成員]

氏名	所属・職名
阿部千春	（一財）道南歴史文化振興財団 アドバイザー
大津和子	北海道ユネスコ連絡協議会 会長
國木田大	北海道大学大学院 文学研究院 考古学研究室 准教授
渋谷和憲	（公社）北海道観光振興機構 地域支援本部 本部長
森朋子	札幌市立大学 デザイン学部 准教授

### (2) 検討の経過

日にち	開催地	内容
2022（令和4）年 5月31日	札幌市内	第1回「北海道の縄文世界遺産の拠点機能のあり方（仮称）に関する懇談会」において意見交換。
2022（令和4）年 7月12日	札幌市内	第2回「北海道の縄文世界遺産の拠点機能のあり方（仮称）に関する懇談会」において意見交換。
2022（令和4）年 8月17日	札幌市内	第3回「北海道の縄文世界遺産の拠点機能のあり方（仮称）に関する懇談会」において意見交換。
2022（令和4）年 11月18日	札幌市内	第4回「北海道の縄文世界遺産の拠点機能のあり方（仮称）に関する懇談会」において意見交換。
2023（令和5）年 1月25日	札幌市内	第5回「北海道の縄文世界遺産の拠点機能のあり方（仮称）に関する懇談会」において意見交換。

## 2 用語解説

## 用語解説

※五十音順、[]内はよみがな

### あ行

#### アドベンチャートラベル（AT） 【あどべんちゃーとらべる】

一般的に『アクティビティ』『自然』『異文化体験』の3つの要素のうち、2つ以上を組み合わせた旅行形態と定義される。さらに、ATを推進する世界最大の組織であるアドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション（ATTA）は、『今までにないユニークな体験』『自己変革』『健康であること』『挑戦』『ローインパクト』といった5つの体験価値を提唱しており、より本質的な理解としては、アクティビティを通じて自然体験や異文化体験を行い、地域の人々と双方向で触れ合い楽しみながら、その土地の自然と文化をより深く知ることで自分の内面が変わっていくような旅行形態を指す。

#### 安定同位体分析 【あんでいどういたいぶんせき】

安定同位体分析には水素、炭素、窒素、酸素などの安定同位体を対象とするが、ここでは縄文人が何を食べていたかを知るために炭素と窒素の安定同位体（<sup>13</sup>C、<sup>15</sup>N）比を分析すること。

#### 遺産影響評価（HIA） 【いさんえいきょうひょうか】

Heritage Impact Assessment 略称：HIA  
世界文化遺産の資産内、緩衝地帯内及びその周辺において開発事業が計画された際などに、当該計画が文化遺産に与える影響を評価すること。

#### インタープリテーション 【いんたーぷりてーしょん】

単なる情報の提供でなく、対話・体験・教材等を通し、事物や事象の背後にある意味や関係を明らかにすることを目的とした行為。

#### 『Operational Guideline 2021』（世界遺産条約履行のための作業指針） 【おぺれーしょなるがいどらいん】

世界遺産一覧表への記載の推薦や、世界遺産一覧表記載資産の保護・保全に関する手続等を細かく定めたもの。

### か行

#### ガイダンス施設 【がいだんすしせつ】

ここでは、各構成資産に設置されている遺跡の内容等を説明するための施設。

#### ガイドینگ 【がいでいんぐ】

来訪者に対して説明をすること。

#### 緩衝地帯（バッファゾーン） 【かんしょうちたい】

資産ではないが、資産の効果的な保護のために必要な範囲について、法的又は習慣的手法により補完的な利用・開発規制を敷いた地域。日本国内の世界遺産では自治体が制定する景観条例や景観計画が用いられることが多い。

#### 関連資産 【かんれんしさん】

縄文遺跡群の構成資産ではないものの、顕著な普遍的価値の証明や理解の一助となる資産として位置づけているもの。他の構成資産と一体的な保存・活用の取組を進めている。ここでは、世界遺産としてのシリアル・プロパティーズとは異なる意味として使用している。

#### 北の縄文・官民連携プラットフォーム 【きたのじょうもんかんみんれんけいぷらっとふぉーむ】

北海道の縄文遺跡群の保存及び活用の推進に関する情報共有などを図ることを目的として、北海道が令和3年（2021年）12月に設置した会議体。縄文遺跡群の構成資産を有する関係市町や国、縄文関係団体、経済団体、民間事業者など約50の機関や団体で構成されている。 ※策定時点

#### キャパシティ・ビルディング 【きゃぱしていびるでいんぐ】

個人・集団・組織・社会がある目標を達成するために必要な能力を構築・向上させること、能力構築、と訳される。

#### 顕著な普遍的価値（OUV） 【けんちよなふへんてきかち】

Outstanding Universal Value 略称：OUV  
国家間の境界を超越し、人類全体にとって現代及び将来世代に共通した重要性を有するような、傑出した文化的な意義及び／又は自然的な価値（「世界遺産条約履行のための作業指針」第49段落）

#### 構成資産 【こうせいしさん】

推薦する資産の総体を構成する遺跡などの要素。縄文遺跡群は北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する17資産で構成されている。

## か行

### 古環境（復元）

【こかんきょう（ふくげん）】

かつての人類の活動舞台、歴史の背景となる自然環境等を明らかにするものである。たとえば、過去の植生を解明する方法として花粉分析法が行われる。これは遺跡の土中から花粉や胞子を採集して種、属を明らかにし、植生を知るものである。また、貝類の成長線や酸素同位体の測定などから、採集時期や気象環境が調べられる。

### 国連世界観光機関（UNWTO）

【こくれんせかいかんこうきかん】

United Nations World Tourism Organization、略称：UNWTO  
観光分野における国際連合の専門機関。観光を通じた豊かな社会の実現と責任ある持続可能な観光の推進を目的としており、158の加盟国及び500以上の賛助加盟員で構成されている。

## さ行

### 持続可能な開発のための教育（ESD）

【じぞくかのうなかいはつのためのきょういく】

Education for Sustainable Development  
略称：ESD  
持続可能な開発を実現するため、地球的な視野を持ち発想し行動できる人材を育成することを目的とする教育。

### SDGs（持続可能な開発目標）

【えすでいーじーず（じぞくかのうなかいはつもくひょう）】

Sustainable Development Goals 略称：SDGs  
平成27年（2015年）9月に開催された国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、持続可能な世界を実現するための目標。包括的な17のゴールと、その下にさらに細分化された169のターゲットから構成される。

### <sup>14</sup>C年代測定

【じゅうよんしいーねんだいそくてい】

炭素の放射性同位体のひとつである炭素<sup>14</sup>Cが、生物の死後一定の割合で減少する性質を持つことを利用して行う年代測定方法のこと。

### 縄文遺跡群世界遺産本部

【じょうもんいせきぐんせかいいさんほんぶ】

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存と活用を推進するため、関係機関が連絡調整及び協議を行う場として、令和元年（2019年）12月に「縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会」として設置された。令和3年（2021年）7月の世界遺産登録後、令和4年（2022年）4月に「縄文遺跡群世界遺産本部」へ改称している。  
北海道、青森県、岩手県、秋田県並びに構成資産及び関連資産を所管する14の自治体（函館市、伊達市、千歳市、森町、洞爺湖町、青森市、弘前市、八戸市、つがる市、外ヶ浜町、七戸町、一戸町、鹿角市、北秋田市）によって構成されている。

### 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）

【せかいのぶんかいさんおよびしぜんいさんのほごにかんするじょうやく（せかいいさんじょうやく）】

顕著な普遍的価値を有する文化遺産及び自然遺産を保護するための条約。昭和47年（1972年）にユネスコ総会で採択され、昭和50年（1975年）に条約発効。日本は平成4年（1992年）に批准した。

### 先史文化

【せんしぶんか】

文献資料に現れる前の時代の文化。

## た行

### 竪穴建物（群）（跡）

【たてあなたてもの（ぐん）（あと）】

地面を掘りくぼめて床とした建物。北海道では700年前頃まで一般的な住居として使われた。

### 竪穴状墓域

【たてあなじょうぼいき】

竪穴状の掘り込みの内部に複数の土坑墓を構築した3,900年前頃の遺構で、鷲ノ木遺跡のほか、森町上台1遺跡や函館市浜町A遺跡で類似の遺構が見つかった。

## は行

### ハンズ・オン

【はんずおん】

一方的に壇上からしゃべる講義や観覧することしかできない博物館展示と対比して、専門家による直接の指導や展示物に触れる体験を通じて知識や技能を習得する学習のこと。

## は行

### ブランディング 【ぶらんでいんぐ】

顧客や消費者にとって価値のあるブランドを構築するための活動。ブランドの特徴や競合する企業・製品との違いを明確に提示することで、顧客や消費者の関心を高め、購買を促進することを目的とする。消費者との信頼関係を深めることで、ブランドの訴求力が向上し、競合他社に対して優位に立つことができる。ブランド化。

### ヘリテージツーリズム（HT） 【へりてーじつーりずむ】

固有性が高くその土地でしか享受できない体験を目的とするツーリズムのうち、遺跡や建造物、文化的景観等の文化財的価値の高い文化遺産を対象とするもの。

## ま行

### 盛土遺構 【もりどいこう】

土とともに大量の土器や石器などが廃棄された場所である。土偶なども多く出土することから、祭祀・儀礼に関係する場所と考えられる。

## や行

### ユネスコ（UNESCO） 【ゆねすこ】

United Nations Educational Scientific and Cultural Organization、略称：UNESCO  
教育、科学、文化の発展と進展を目的として1946(昭和21)年に設立された国際連合の専門機関。本部はフランスのパリに置かれている。

## ら行

### 冷温帯落葉広葉樹林帯（北方ブナ帯） 【れいおんたいらくようこうようじゅりんたい（ほっぽうぶなたい）】

年間平均気温-3～18℃の冷温帯にあって、日本海側、太平洋側ともにブナが優占する傾向が見られる林が分布する地域。



発 行

令和5年（2023年）3月

北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室



未来へつづく、一万年ストーリー。

# 北の縄文